



第 148 号

宮城県亶理農業改良普及センター

〒989-2301

亶理郡亶理町逢隈中泉字本木9

TEL 0223-34-1141

FAX 0223-34-1143

E-mail wrnokai@pref.miyagi.lg.jp

<https://www.pref.miyagi.jp/site/wrnk/>

いちご生産者と共に天敵の効果を検討

「令和5年度も皆様と共に」

宮城県亶理農業改良普及センター 所長 渋谷 智行

新型コロナウイルスがやっと落ち着きを見せていますが、昨年来の世界情勢の影響を受け、燃油や資材の高騰により農業経営に大きな影響が出ています。国や県、市町、関係機関による各種支援策は出されているものの、農業者の皆様には持続可能な農業経営を行うため、並々ならぬ努力を重ねていただいております。感謝に堪えません。

また、大きく変化する世界情勢を受け、「食料安全保障の強化に向けた食料や肥料、飼料の自給力向上」など、生産の体質強化に向けた更なる取組が必要とされています。

さて、当普及センターでは4月の人事異動により、新たなメンバーが4名転入しました。所員一同皆様と共に地域農業の発展に向け、普及活動を展開しよ

うと意気込んでいます。令和5年度は、土地利用型農業法人の経営発展に向けた中長期計画作成支援や新たな園芸品目の導入と定着、名取市下余田地区で計画されている農地整備に合わせた担い手の育成、栽培経験の浅いいちご生産者への環境制御技術の習得、近年生産が伸びているさつまいもの生産や貯蔵管理技術の向上等を支援するなど、4つのプロジェクト課題に取り組んでいきます。

このほか、担い手の育成に向け、各市町が将来の農地利用の姿を明確化する「地域計画」策定に向けた支援、園芸振興のため、いちごやカーネーション、りんごなどの栽培技術指導、土地利用型農業者を中心としたスマート農業や耕畜連携の取組を推進してまいります。

新たな創造 えんげい王国 亘理・名取

亘理普及センターでは、令和5年度は、右記の4つの重点活動項目を掲げ、4つのプロジェクト課題（緊急重点的に取り組む課題）等について、関係機関と連携を図りながら、効率的かつ効果的な普及活動を展開します。

〈令和5年度 プロジェクト課題 活動紹介〉

新たな品目・技術導入による土地利用型法人の経営発展（令和4～5年度）

岩沼市内の2つの土地利用型農業法人では、新規園芸品目と新技術の導入により、法人経営のさらなる発展を目指しています。

当普及センターでは、目標達成に向けて令和4年度から2か年の計画で、農業・園芸総合研究所等の試験研究機関のほか、カルビーポテト株式会社と連携し、生育調査や巡回を通して栽培管理に関する情報提供等、水田における加工用ばれいしょ栽培の定着を支援しています。また、水稲育苗ハウスを利用した「シャインマスカット」等、ぶどうの商品化割合の向上のための栽培技術習得支援、さらには省力化や作期拡大を目的に、取組開始から間もない水稲乾田直播の栽培技術の定着支援も行っています。これらの栽培技術指導に加え、中長期的な経営計画策定に関する支援も行っています。

このような取組は土地利用型農業法人における園芸品目導入のモデルケースとして期待されており、当普及センターでは本年度も引き続き支援していきます。



ばれいしょの植え付け



経営計画策定のための専門家による指導会

名取市下余田2期地区における農地整備を契機にした地域農業の発展（令和5～6年度）

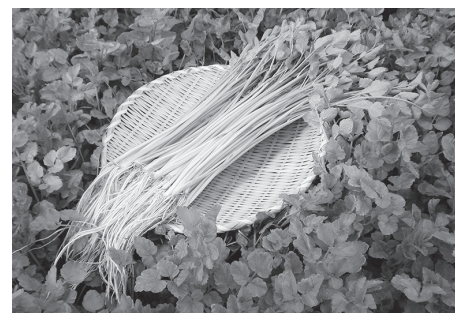
名取市下余田2期地区では、平成26年11月からワークショップ等を行い、地域農業の将来像について話し合ってきました。平成30年度には下余田2期活性化推進委員会が設立され、令和4年に地区の営農ビジョンが取りまとめられました。

地域の農地と農業を守り、維持していくためには、ほ場整備で水田の大区画化を図り、農地を担い手に集積して機械作業の効率化を進めることなどが不可欠です。

当普及センターでは、担い手となる新たな農業法人の設立に向け、構成員候補者の構想や課題を整理し、法人化計画策定に向け支援するとともに、地区内の園芸品目の収益拡大を図るよう啓発していきます。



生産者との打合せ



園芸品目の「せり」

— 令和5年度重点活動項目 —

- (1) 生産技術の高度化による競争力の高い園芸産地の確立
- (2) 次世代につなぐ収益性の高い水田農業・畜産経営の確立
- (3) 地域農業を支える多様な人材の確保・育成
- (4) 農村地域の資源を活用した持続可能な農業・農村の構築

次代を担ういちご生産者の環境制御技術等の習得による生産性向上 (令和4~5年度)

巨理郡には、東日本大震災後、創造的復興に向けた生産者の取組や、関係機関の支援により、68haに及ぶ東北一のいちご産地が広がっています。震災後12年を経過した今でも、生産を再開した農業者、その後継者、県外からの新規参入者など、いちご生産に取り組む人が増えています。

60代後半の経営主が中心となっている今、次代を担う後継者に対するスムーズな事業承継が求められています。一方で、Uターン就農の後継者や、地域外から新たにいちご生産に参入しようとする新規就農者は、従来からのいちご生産者との繋がりが少なく、身近な相談相手や同世代の仲間が少ないまま就農する方が増えつつあります。

当普及センターでは昨年度から、就農して3年未満の方を対象に個別の巡回指導や集合研修会を行い、栽培経験が少ない生産者の栽培管理技術の向上と仲間づくりに向けた取組を支援しています。この取組を通じ、次代のいちご生産者が、育苗期の肥培管理、苗づくり、定植後の栽培ほ場の温度、二酸化炭素濃度、養液管理などを最適化する環境制御に関する考え方等を仲間とともに習得し、より早期に安定した生産ができるよう支援していきます。



いちご定植前研修会



天敵の効果を検討

さつまいもの産地育成 (令和5~6年度)

当普及センター管内では農地整備事業を実施した畑地で、法人を中心に大規模な露地野菜の生産が行われています。震災前、宮城県のさつまいも栽培面積は約30haでしたが、令和4年度における管内のさつまいもの栽培面積は約38haに上っています。さつまいもは元々、九州、四国を中心に生産されてきましたが、サツマイモ基腐病の発生拡大により産地が東日本に移行してきています。従来の産地が縮小する一方、国内だけでなく輸出需要も増えており、管内の法人では海外への輸出を行っています。

今後、品質が良いさつまいもの出荷を増やしていくためには、健全な苗の生産、ほ場での病害虫と雑草の防除、適期定植・収穫など栽培管理の技術定着を図る必要があります。また、さつまいもは輸出などの長期間の貯蔵・輸送中に腐敗によるロスが多く、キュアリング処理をはじめとする貯蔵管理技術の徹底が課題となっています。

当普及センターでは巡回指導や研修会を行い、より安定した生産・出荷ができるよう支援していきます。



さつまいもの定植



さつまいもの大型貯蔵庫

お知らせ

令和5年度春の農作業安全確認運動展開中！

運動期間：春 令和5年3月1日～令和5年6月30日

農林水産省の最新の調査データによると、近年300人前後の方々が農作業中の事故で亡くなっています。農作業中の死亡事故は一般交通事故の約5倍、建設業の約2倍にも及びます。農作業事故を未然に防ぐために、備えるべき機器（ランプ等）や操作時の安全確認と予防対策をもう一度考えてみましょう。

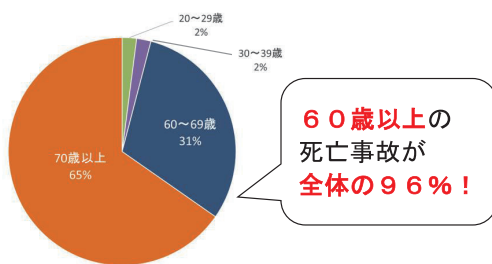
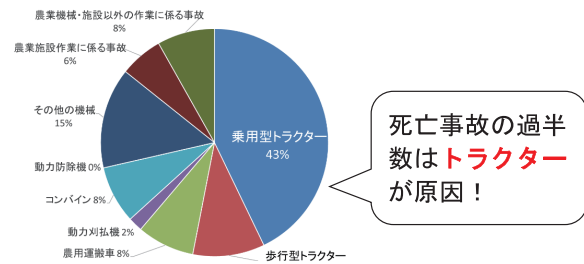
令和5年 農作業安全確認運動スローガン

【徹底しよう！農業機械の転落・転倒対策】

宮城県の農作業の死亡事故の過半数はトラクターが原因となっています。トラクター等の走行時は、以下の点に注意しましょう。

- ① 安全フレーム・キャブの装着とシートベルト、ヘルメットの着用徹底
- ② 確実な運転操作と走行の際の左右ブレーキペダル連結
- ③ 路肩からの転落、いねむりや脇見運転に注意

宮城県の農作業死亡事故発生状況

図. 年齢別死亡事故割合
(宮城県 H24～R3)図. 機種別死亡事故割合
(宮城県 H24～R3)

農作業安全確認運動に関する問合せ：

農作業安全確認運動推進宮城県本部（事務局：宮城県農政部みやぎ米推進課）電話：022-211-2845

令和5年度農薬危害防止運動の実施（令和5年6月1日～令和5年8月31日）

【農薬は安全かつ適正に使用しましょう！】

毎年、農薬の使用に伴う使用者、周辺住民、家畜、周辺環境等に対する被害の発生事例や、農薬の不適正使用による農作物からの食品衛生法に基づく残留基準を超えた農薬成分の検出事例が確認されています。農薬使用の際は、特に以下の点に留意し、農薬危害を防止しましょう。

- ① 農薬の使用前には必ずラベルで作物名・使用方法を確認し、マスク等防護装備等に関する注意事項を遵守しましょう。
- ② すべての農薬について、安全な場所に施設して保管する等農薬の保管管理には十分注意してください。
- ③ 飲料用容器等への農薬の移し替えは誤飲に繋がるため厳禁です。
- ④ 住宅地周辺で農薬を散布する際は、事前に日時や場所等を周知し、飛散防止を徹底しましょう。
- ⑤ 土壌くん蒸を使用する場合は、必ず被覆処理し、周囲への拡散を防止しましょう。

亘理地域における栽培技術情報について

当普及センターでは、水稻（稲作情報）、麦（麦作情報）、大豆（大豆情報）、いちご（普及センター通信）の栽培技術情報紙を発行しています。発行する頻度等は品目によって異なりますが、管内の栽培状況を踏まえた内容となっておりますので、御興味のある方は、当普及センターまで御連絡いただくか、当普及センターのホームページにも掲載している情報紙もありますので御覧ください。

ホームページアドレス <https://www.pref.miyagi.jp/site/wrnk/>